

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	倉敷市新溪園
(2) 指定管理者	所在地 倉敷市中央2丁目6-1 名称 倉敷観光コンベンションビューロー・クラレテクノ共同事業体 代表者 公益社団法人 倉敷観光コンベンションビューロー 会長 藤原 秀則
(3) 公の施設の所管部署	倉敷市文化産業局文化観光部観光課
(4) 評価対象期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

2 総合評価結果

(1) 市の評価	<p>今年度は「施設の景観保持」に重点を置き、評価を行った。施設内部（敬儉堂・游心亭）については、障子の修繕や畳の表替えを実施し、利用者の満足度向上に努めた。施設外部については、隣接する施設との境界に設置していた老朽化したバリケードを、倉敷の特産品である畳縁を活用した木製バリケードに更新（22基）。通常の施設の維持管理に加え、地域資源のPR、景観の向上を兼ねた効果的な取り組みを実施した。</p> <p>また、美観地区を中心に開催されたG7倉敷労働雇用大臣会合に向けて樹木剪定、砂利の補充などの受入環境整備を実施するなど、各種イベントへの積極的な参画が見られた。</p>	総合評価
		S
(2) 指定管理者の自己評価	<p>施設の管理運営については、市民の集会場やウェディング会場、展示場、コンベンション会場としての貸出業務を実施するとともに、景観に配慮した清掃・剪定による景観保持等、適切且つ円滑な管理運営を行いました。特に建物の管理については、敬儉堂の畳表替えを実施したほか、市と連絡調整をしながら、建物の検査、修繕等を適切に実施しました。</p> <p>協定書に定められた、イベント会場としての活用に加え、SNSでの情報発信を積極的に行うことや、集会場としてのみではなく、美観地区の主要な観光資源の一つとして観光客に喜んでいただけるよう、予約のない時は一般開放を行うなど、おもてなしや利用促進を図りました。</p> <p>利用件数については、3年目になる新型コロナウイルス感染症の影響がありながらも、行動制限・マスク着用の緩和などを受け、順調に増えコロナ禍前の実績並となりました。</p>	

	その結果、利用者の事故、クレーム等もなく、適切な運営ができたものと考えます。
(3) アンケート結果の概要	<p>「全体の満足度」は、97%の満足度（満足・ほぼ満足）が得られており、非常に高い水準を維持している。</p> <p>また、管理運営に関するその他の項目（「職員の対応」「施設の清潔感」「安全対策」）についても、いずれも95%以上の満足度が得られており、質の高いサービスが提供できていることが伺える。</p>

3 施設の利用状況

(1) 利用実績	新溪園利用件数		
	令和4年度	令和3年度	
	486件	379件	(前年度比128%)
(2) 事業の内容	新溪園利用者数		
	令和4年度	令和3年度	
	47,637人	16,832人	(前年度比283%)
	<ul style="list-style-type: none"> ・施設等の使用許可に関する業務 ・施設等の維持管理に関する業務 ・使用料の徴収に関する業務 		

4 収支

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	10,580千円
	市からの指定管理料（委託料）	8,450千円
	利用料金	2,128千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	11,082千円
	主な支出	委託費 3,652千円
		(植栽管理費・松活力注入・機械警備・清掃費用・消防点検設備・害虫、ねずみ駆除ほか)
		人件費 3,852千円
		修繕料 1,622千円
		光熱水費 1,223千円
		消耗品費 309千円
		事務経費（クラレテクノ） 205千円
	その他経費 216千円	